

◎ 木造公共施設紹介

施設名 青木村 村歴史文化資料館

(平成21年度事業)

構造：木造平屋建

延床面積：273.27m²

木材使用量：81.05m³

主な樹種：県産カラマツ構造用集成材（土台注入材、大引、梁、桁、管柱等）
県産カラマツ（床材、板壁等）

施設概要：青木村の古くから伝わる歴史と文化に深く触れるため、歴史資料施設を設置するにあたり、森林豊かな青木村をイメージした県産材を多用した木造公共施設により、地域住民をはじめ村内外の施設利用者に木材の持つ温もりなど体験し、森林に対する関心を深めその展示効果を高めています。

(写真)



全景：木造の図書館に隣接し木の香る
重厚な木造施設



構造材には県産
カラマツ集成材を使用



床、腰壁にはカラマツ無垢材を使用



木の香る展示室内